



## ☆ひよこ組 (0歳) ☆

一緒に過ごす友だちに興味をもつ姿がみられるようになってきています。泣いている友だちがいたら、頭を撫でてあげたり、顔を見合わせて笑いあったりしてとても微笑ましいです♪

少しずつ言葉が出る子が増えてきました。絵本や外にいるネコを見つけると「ニャーニャー！」と指を差しながら教えてくれます。また、名前を呼んだり、「〇〇する人〜！」と言ったりすると「はいい！」と返事をして保育者とのやりとりを楽しんでいます。

身の周りのことに興味をもち始め、手や口を拭いたり、ズボンを上げ下げしようしたりなど自分でしようとする姿に成長を感じています。「自分でやりたい！」という気持ちを大事にしながら声かけや援助をしていきたいと思います。

## ☆ひよこ組 (1歳) ☆



子ども同士の関わりが増え、簡単な言葉のやりとりができるようになってきています。「おいで〜」と誘い合ったり、友だちと一緒に同じ遊びをして笑い合ったりする姿がとても微笑ましいです♪保育者が仲立ちとなりながら順番を知らせたり、言葉のやりとりでおもちゃの貸し借りをしたりできるようにしています。

食事面では、フォークを下から持ったり、お皿に手を添えたりしながら食事ができるよう声をかけています。自分で食べ終わったお皿は保育者に見せ、「ぴかぴかして〜」と教えてくれます。

クリスマス製作ではツリーにスタンプしたり、靴下やプレゼントを自分の好きなところに貼ったりすることを楽しみ、可愛らしいツリーが完成しました。実際に、玄関にあるツリーに飾り付けをしに行くと、「大きいね！」と大喜びの子どもたち！何度も飾り付けを繰り返していました。

## ☆ひまわり組 (2歳) ☆



戸外ではみんなでしっぽとりやかけっこなどをして身体を動かして遊んでいます。「先生追いかけて！」「よーい、どん！」とやる気満々で保育者を誘ってくれます。「一緒にあそぼう」と友だちと声を掛け合って遊ぶ姿もみられます。しっぽを取られた悔しさを保育者に受けとめてもらいながら気持ちを切り替えてしっぽを取りに行く姿が見られるようになり、遊びが盛り上がっています。

お正月の製作をしました。「だるまを作るよ」と知らせると、「やったー！作りたい！」と喜んで製作していました。保育者と一緒に「眉毛は目の上にあるね」などと話しながら、眉毛や目、口、ひげを自分で貼り、それぞれとっても可愛いだるまができました！

鼻水が出た時にはポケットからティッシュを出して拭くように知らせています。まだ上手く拭けない子が多いですが、お家でも拭き方や鼻のかみ方を教えてあげてくださいね。



## ☆ばら組・すみれ組 (年少) ☆

参観日には初めてのホールでの発表会ということで緊張している子もいましたが、「どきどきするね」と友だちと顔を見合わせにこにこしている姿もみられ、本番ではどちらのクラスも楽しんで演じている姿を見てもらうことができました。休み明けには「ご飯食べに行った」「頑張ったねって褒めてもらった」と嬉しそうに教えてくれました。様々な行事を経験する中で友だち関係が広がり子ども同士であそびに誘い話し合いながら遊ぶ姿も見られています。

キッズフェスティバルに向けて少しずつパート練習が始まりました。あこがれていた楽器、合奏ということで子ども達はやる気満々です！同じパートになった友だちと歌を歌ったりリズムを歌ってみたりする姿もみられています。

## ☆さくら組・ゆり組 (年中) ☆

先日はお忙しい中、参観日にご参加いただきありがとうございました。本番前に緊張をしている子がいましたが、保護者の顔を見ると楽しみになる子も多く、最後まで頑張ることができました。休み明けには、「いっぱい褒めてもらった！」と嬉しそうに教えてくれてやり切った表情に達成感を感じることができました。

子どもたちとクリスマス製作でサンタクロースを作りました。「サンタさんから〇〇もらう！」と日常生活の中で友だちや保育者と一緒に嬉しそうに話していた子どもたち。製作では「ほっぺたがかわいい！」や「プレゼント一緒だね」と友だちとサンタさんを見せ合いっ子しながら楽しく作ることができました♪

劇遊びが終わり合奏の練習が始まりました。それぞれのパートに分かれて練習していて、音符を声に出して読んだり、鍵盤や楽器を使って指の番号やリズムを合わせたりしながら練習をしています。鍵盤の指使いに苦戦することもあります。が、「ここだよ！」と友だちや保育者に教えてもらいながら「できた！」という達成感の気持ちに繋げていきたいと思います！



## ☆みかん組・あお組 (年長) ☆

参観日の劇あそびではお忙しい中、たくさんの観覧ありがとうございました。自分たちで考えた表現や台詞、そして気持ちをこめて歌った歌も聴いて頂き、お子さんの成長を感じて頂けたのではないかと思います。月曜日には子ども達から「頑張ったね」って褒めてもらった！「お歌が感動したんだって！」と、とても嬉しそうに教えてくれました。参観日が終わってから歌を口ずさんだり、友だちのセリフを言ったり、複数人で登場人物になりきり台詞の掛け合いをしたりなど楽しむ姿が見られています！

フェスティバルに向けてそれぞれの楽器のパート練習に取り組んでいます。難しいパートに苦戦している時もありますが、繰り返し練習することで出来るところが増え、自信につながっています。保育園生活の集大成としての演奏が出来るよう頑張っているのも楽しみにしておいてください♪

## 地域清掃活動

年長組の子どもたちは月に1回、妹尾保育園周辺のごみ拾いを行っています。ごみを拾っているときに地域の方に会うと「こんにちは」とすすんであいさつもしています。地域の方からも「小さいのに偉いね」や「ありがとう」の声を頂いています。子どもたちからも「ごみを捨ててほしくないね」や「きれいになって良かった」という声も聞かれるようになり、最近では清掃活動を楽しみにしている子もいます。この活動を通して妹尾の町がきれいになり、ごみを捨てる人が減ってくれたらいいなと思っています。

## 職員研修感想

(研修テーマ)

乳幼児の権利を保障するとはどういうことか？

～子ども基本法を精神を踏まえて～



今回の研修では、子どもの権利を保障するということについて自分の普段の子どもとの関わりを振り返りながら学ぶことができた。子どもの最善の利益を尊重するとは、子どもに対して誰がどんなことをする場合でも、「子どもにとって最も良いことは何か？」を考えて行うことである。しかし事例で、園外保育で原っぱに遊びに来て帰る時間になったので子どもたちに声をかけたがなかなか帰ろうとしない子どもに対して、「子どもの気持ちを尊重し気が済むまで遊ばせてあげたいが、保育士配置基準や保育士不足の現状から見ると、子ども一人に保育者が一人につくことができないため難しい」という意見が出た。もちろん無理強いして帰らせることは違うが、子どもの意見を受け止めた行為であれば子どもは自分の意見を汲み取ってもらえたという気持ちから納得するという事が分かった。普段の保育でも同じような状況があるため活かしていきたい。また、保育において怒ることは命の危険がある時だけで、そのほかの場合は怒るのではなく疑問形で子どもに問いかけ、知らせていくことが大切だと学ぶことができた。